



中央区・上野美恵子のページ

日本共産党市議会だより 2018年7月15日号 (No.1104)



災害時の避難場所となる公共施設のバリアフリー化推進を！

このたび発生した西日本を中心とした記録的な豪雨により犠牲となったみなさまにお悔やみを申し上げますとともに、被災されたすべてのみなさまにお見舞い申し上げます。

今回の被害は、記録的な豪雨災害はいつでもどこでも起こりうるものであるということを浮き彫りにしました。改めて、さまざまな災害への備えや、従来の対策にとどまらない災害への対応の必要性が明らかになったと思います。

私たち党市議団は、熊本地震発災以来、災害への備えと対応策の充実を繰り返し求めてきました。避難所となる公共施設のバリアフリー化も、その一つです。

「学校施設のバリアフリー化に関する整備計画」の策定を

学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であり、その健康・安全の確保はもちろん、快適で豊かな空間として整備することが重要です。また、地域住民にとっても、最も身近な公共施設として、まちづくりの核であり、生涯学習等の場、あるいは地域の防災拠点として、地域住民にとって大切な場所です。

広く地域住民が利用する学校施設のバリアフリー化は重要であり、文部科学省は、2004年に「学校施設バリアフリー化推進指針」を定め、それに基づく「学校施設のバリアフリー化に関する整備計画」策定を求めています。党市議団は、学校施設のバリアフリー化推進のため、速やかな「整備計画」策定を求めています。

「学校施設バリアフリー化推進指針」に基づき、 学校トイレ等のバリアフリー化改修を

学校施設のバリアフリー化で、特に要望が強いのが、トイレの洋式化です。右表のように、高校に比べて小中学校は遅れています。災害時を考えると、体育館・武道場と屋外トイレも早急に洋式化をすすめる必要があります。「学校施設バリアフリー化推進指針」に基づき、トイレの洋式化を推進するよう議会で求めています。

【洋式トイレの設置率】

小学校	37・3%
中学校	30・4%
高校	57・9%

【小中学校の場所別洋式化率】

	小学校	中学校
校舎内	39・9%	33・5%
体育館	25・2%	23・8%
屋外	14・4%	9・7%

公園へのトイレ設置と洋式化を

熊本地震の際には、市内の公園も、大小にかかわらず、避難場所として大事な役割を果たしました。しかし、土木部所管の公園1,052カ所のうち、トイレが設置されているのは、3分の1しかありません。689カ所の公園には、トイレもないというのが実情です。

また、公園トイレの洋式化率は23・7%、4カ所に1カ所です。洋式化率が低いのは、古いトイレが多いということです。

党市議団では、公園へのトイレ設置と洋式化率の推進に計画的に取り組むよう、求めています。